

**EDU-Port ニッポン 令和5年度の進め方について(案)****1. EDU-Port ニッポン応援プロジェクト**

日本型教育を海外展開する民間事業を幅広く後押しし、日本の教育の国際化・質的向上とともに海外各国との関係強化を図り、SDGs、ESD に貢献することを目的として、教育関連事業を行う機関等を対象に公募を実施し、審査・採択ののち、必要な支援を行う。

※令和4年度に採択した応援プロジェクト(12件)については継続して支援を実施。

**○公募開始時期**

4月下旬及び10月頃の年2回を予定。

**○EDU-Port ニッポン応援プロジェクト・調査研究審査委員会の設置**

調査研究(後述)と併せて審査委員会を設置し、審査・採択を行う。

**○採択事業への支援内容**

- ① EDU-Port ニッポンロゴマーク利用の管理
- ② 現地機関との調整・仲介支援(推薦レターの発行、在外日本国大使館・JICA 職員等及び在日各国大使館職員の紹介、現地関係機関への仲介)
- ③ その他、文部科学省・事務局による個別コンサルティング 等

**2. 日本型教育の海外展開に関する調査研究****(1) 予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究(フイージビリティ・スタディ)(令和5年度新規事業)**

- ・全ての子供に公平で質の高い教育を確保するためのデジタル技術の活用
- ・生涯にわたって必要な知識・技能の育成

のいずれかをテーマに、調査対象国・地域の教育的な課題・ニーズを調査し、これに対応した日本の特色ある教育活動を実際に現地で展開することにより、日本型教育がどのように現地の課題を解決し、ニーズを満たすことができるのかを実証的に明らかにする。

**○公募開始時期**

4月下旬を予定。

**○EDU-Port ニッポン応援プロジェクト・調査研究審査委員会の設置**

EDU-Port ニッポン応援プロジェクト(前述)と併せて審査委員会を設置し、審査・採択を行う。

予算規模	800万円（400万円/件）
対象期間	2年間
採択予定件数	2件
その他の支援	応援プロジェクトと同様の活動支援を行う。

(2) With/Post コロナにおける日本型教育の海外展開に関する調査研究—アフリカにおける日本型教育の海外展開フィージビリティ・スタディ—  
(令和4年度からの継続事業)

TICAD8を機に開始した、With/Post コロナにおけるアフリカ諸国のニーズ把握・海外展開の方策等に関する調査研究の2年目を継続実施する。

予算規模	800万円（400万円/件）
対象期間	2年間
採択件数	2件（国立大学法人福井大学、株式会社公文教育研究会）
その他の支援	応援プロジェクトと同様の活動支援を行う。

### 3. スクールビジット受入れ・調整支援

日本型教育そのものを理解・体験できる機会として、海外の教育関係者が日本の学校を視察するための調整を行う仕組みを構築し、運用する。

令和4年度は、視察受入れのトライアル（2件）を実施したところ、令和5年度は、6件程度の実施を目標にする。

### 4. 日本型教育に係る広報活動

- ・ EDU-Port ニッポン HP への記事掲載
- ・ メールマガジン（月1回配信）等
- ・ 海外での教育見本市（10月インド開催の DIDAC INDIA を想定）への出展

### 5. 国内向けセミナー/シンポジウム

プラットフォーム参加機関の提案に基づき、以下の取組を行う。その際、JICA との連携や、国内の教育への還元（地方公共団体への発信）等を含めた内容となるようプラットフォーム参加機関と調整する。

- ・ 国内向けセミナーの開催（参加機関による企画立案）
- ・ EDU-Port シンポジウムの開催（令和6年3月（予定））

(参考) 令和4年度のセミナー/シンポジウム開催状況

開催時期	セミナー/シンポジウム	参加人数
7月	アフリカ地域分科会	73名(オンライン)
8月	トピックセミナー(特別活動)	90名(オンライン)
9月	トピックセミナー (学校現場におけるSDGs取組)	76名(オンライン)
3月	EDU-Portシンポジウム	236名(対面・オンライン)

## 6. ニーズ・シーズ・リソースの情報収集・発信

- ・プラットフォーム参加機関、JICAや研究機関、在外日本国大使館、在日各国大使館等の協力を得て、海外ニーズを収集・発信する。
- ・経済産業省「未来の教室」実証事業を実施している企業などの協力を得て、国内シーズやリソースについて情報を収集・発信する。
- ・上記に加え、EDU-Portニッポン応援プロジェクト、調査研究の実施を通じて、各事業実施機関が認識した海外各国での教育的にニーズやそれを満たすための日本型教育の特徴や長所についてとりまとめ、国内の教育委員会等に発信することにより、国内の教育の国際化や質的向上に貢献する。

## 7. 令和5年度の主なスケジュール

4月	ステアリングコミッティ(書面)開催
4月下旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト、調査研究公募
6月中旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト・調査研究審査委員会開催
6月下旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト、調査研究公募結果公表
10月上旬～11月上旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト公募
10月中旬	海外教育見本市(DIDAC INDIAを想定)へ出展
11月	ステアリングコミッティ(対面)開催
11月中旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト審査委員会開催
11月下旬	EDU-Portニッポン応援プロジェクト公募結果公表
3月上旬	EDU-Portシンポジウム開催

※上記のほか、国内向けセミナーを数回開催予定。

※スクールビジット受入れ・調整支援は通年。